

# ECALS活用の狙いと課題

キヤノン株式会社

技術システムセンター  
古知屋 寛

# 目次

---

- ◆ 主なキヤノン製品と特徴
- ◆ ECALS活用の狙い
- ◆ 現状と課題
- ◆ 活用概要
- ◆ ECALSの有効性
- ◆ ECALSの課題
- ◆ 提案とお願い

# 主なキヤノン製品



複写機



インクジェットプリンタ



レーザビームプリンタ



レンズ



コンパクトカメラ



医療機器



一眼レフカメラ



ステッパー











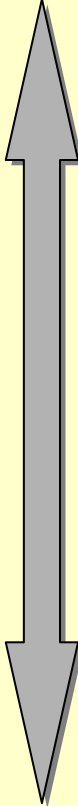


ビデオカメラ



放送機器

# 製品特性と搭載部品

|   | 製品サイクル/価格  | 搭載電気部品の特徴   |
|---|--|---|
| <br><br><br><br><br><br><br><br><br> | <p>短い(1年程度)/安い(数万円程度)</p>  <p>長い(10数年)/高い(数億円程度)</p> | <p>小型、最新、海外メーカー部品</p> <p>極小、最新、表面実装部品</p> <p>小型、海外メーカー部品</p> <p>中小型混在、長寿命部品も使用</p> <p>大型、長寿命部品も使用</p> |

# 現状と課題



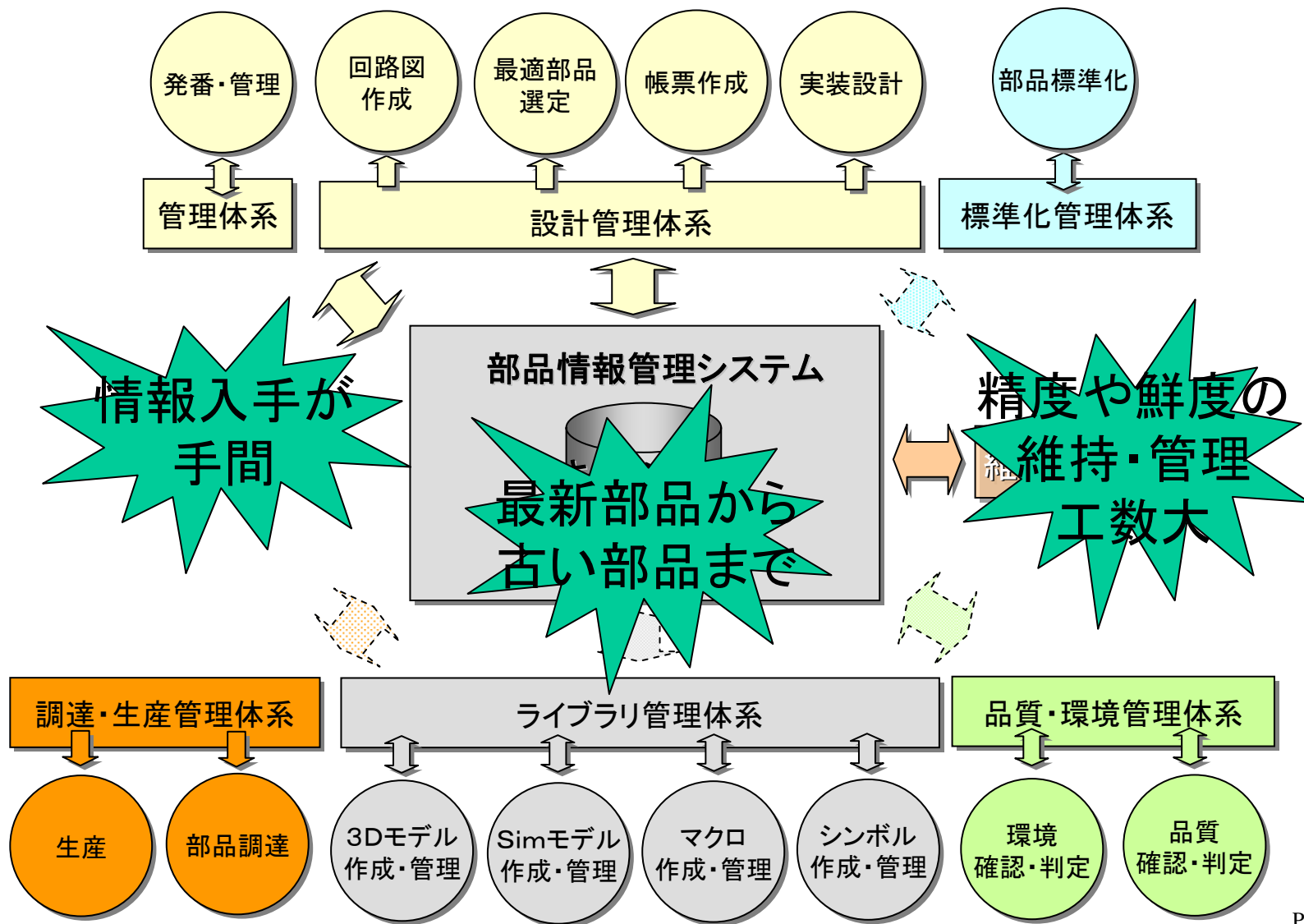
# キヤノンにおける電気部品管理の現状

1 番号 = 1 部品 (メーカー、型名) として  
全社 (関係会社含む) で統一管理

独自の分類体系で部品情報を管理

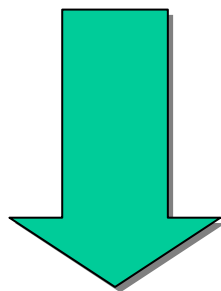
不足する情報は各部門で調査・入手

# 現状の課題



# キヤノンの狙い

電気部品情報に関する現状の課題を解決し、  
開発・調達・生産性を改善する基盤を整備する

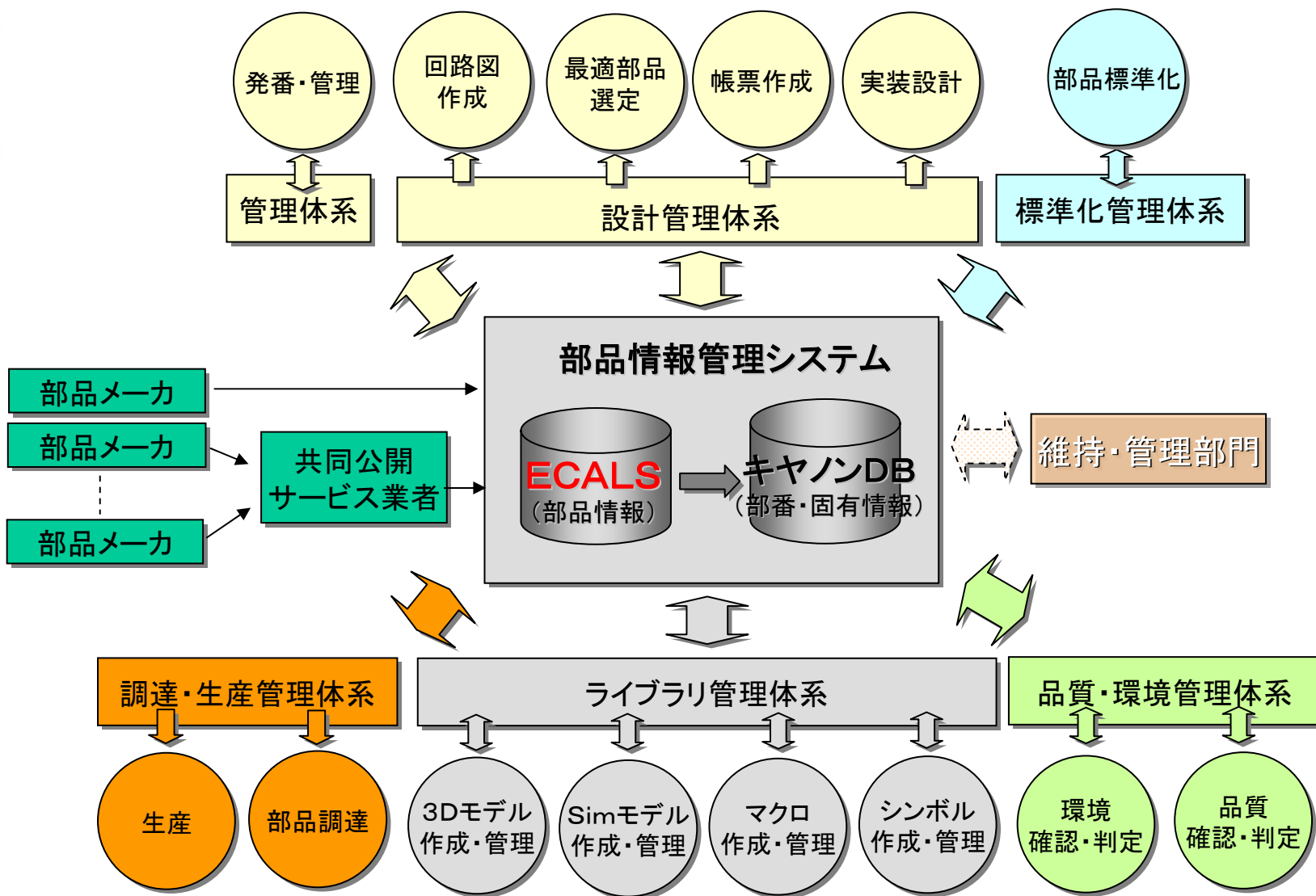


手段としてECALSを活用

製品の品質・性能の一層の向上とコストダウン



# 活用概要



# ECALSの有効性と課題



# ECALSの有効性

- 業界共通認識の定義による情報交換
- 多くの部品、セットメーカーが賛同している
- 約110万点強の部品情報が登録されている  
(2007年10月現在)
- 部品メーカーとのサプライチェーンの確立

# ECALSの課題

## ■ 情報の量

- ・部品メーカーが不足（国内・海外メーカー 例：TI、中国メーカー等）
- ・部品点数が不足（例：汎用ロジック、Tr.、Di.等）

## ■ 情報の質

- ・鮮度不足

新製品、変更、生産・製造中止等の情報

- ・情報の不足や不備

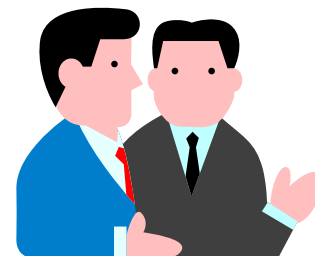
記入モレ、間違いなど（例：汎用ロジックの電源電圧等）

## ■ 辞書

- ・分類・定格のブラッシュアップ（例：実装区分の形式等）

## ■ 情報の流通体制

# JEITA ECセンターへの提案と 部品メーカーへのお願い



# ECセンターへの提案

## ■ 情報の量の拡大に向けて

- ・ECALS拡大と定着に向けた啓蒙活動の充実
- ・情報配信会社との連携強化

## ■ 情報の質の向上に向けて

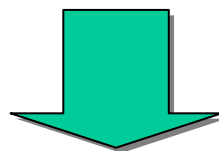
- ・第三者機関によるECALSコンテンツ品質保証体制の検討と現コンテンツへの反映
- ・ECALSコンテンツの品質チェック、向上ツールの開発と公開
- ・活用側(セットメーカー)視点によるECALS辞書(クラス、プロパティ)の不備、不足の調査検討

## 部品メーカーへのお願い

- 既存の部品から最新の部品に至るまで、多くの部品情報のECALS形式での提供をお願いします
- 生産中止、廃止、新製品情報等のタイムリーな情報提供をお願いします
- 規程(定義)に従った必要十分な部品情報の提供をお願いします

## 最後に

多くのセットメーカーがECALSによる情報交換を希望、期待しています。  
ECALS対応によりビジネスチャンスが創出されます。



ご理解とご賛同をいただき、規程に従った部品情報の提供をお願いします。





ご清聴ありがとうございました。

